

一般社団法人日本遺伝性腫瘍学会
2020年度第3回 理事会 議事録

日 時：2021年3月5日（金） 15時00分～19時00分

場 所：web開催（ZOOM）

出席： 理事長 石田秀行
副理事長 青木 大輔 鈴木 眞一
理 事 赤木 究 石川 秀樹 大住 省三 川崎 優子 下平 秀樹 杉本 健樹
田中屋宏爾 田村智英子 平田 敬治 吉田 輝彦
監 事 武田 祐子 田村 和朗

司法書士 寺本 俊孝

事務局：飛松由紀子
へるす出版社長 佐藤 枢
新事務局：平田智子 石坂和子 内山覚巳
編集部：岡田雅子 中田るり子

・Web上で理事13名、監事2名全員が出席し、本会が成立することが確認された。

【報告・審議事項】

1. 理事長報告

石田理事長より、学会事務局移管にかかわる進捗状況、2021年度事業予定、AMED 溝上班活動状況、「遺伝性腫瘍」掲載済の3ガイドラインに関して報告された。

へるす出版佐藤社長より、次年度の学会事務局運営に関し、挨拶があった。

2. 庶務報告

事務局から配布資料にもとづき、会員数、新規入会者、会費納入状況（2021年2月1日現在）について資料提示・説明があった報告され、推薦者は評議員であることが再確認された。

事務局移管に伴い、マーカーネット社、学会バンクより新ホームページ、会員管理に関して説明があり、運営方針に関して承認された。

3. 各種委員会報告・審議

①広報委員会：川崎担当理事

2020年度の活動内容、2021年度活動計画が報告された。

マーカーネット社より、新HP構成について説明があり、4月1日付のリニューアル内容の確認が行われた。

審議事項

- ・ 学術集会プログラム掲載について、過去のプログラム PDF を集約してホームページに掲載することが承認された。
- ・ 求人に関する申し合わせ案ならびに研修会情報の配信に関する申し合わせ案が報告され、一部修正の上、承認された。

②遺伝性腫瘍セミナー委員会：吉田担当理事

第 23 回遺伝性腫瘍セミナー（初のオンライン開催）に関する活動状況が報告された。また、講師・ファシリテータ・プログラム委員長・実行委員長の謝金、E-learning コンテンツの保管に関する協議が検討中であることが報告された。

③総務委員会・会則委員会：平田担当理事・鈴木担当理事

平田担当理事より、前回理事会以降の通信理事会決議事項、学会会計の一本化に関する検討事項、会員管理システム・通信システムの導入について報告された。

各委員会規程の新規施行について承認され、2021 年 4 月 1 日から施行することとなった。

旅費等に関する規程、休会・復会規程の施行について承認され、2021 年 4 月 1 日から施行することとなった。その他規程、規則、細則等の書式についても可能なものは加筆・修正のうえ、3 月中に通信理事会に諮り、これらも 4 月 1 日から施行することが承認された。

鈴木担当理事より、定款・定款細則、COI 開示に関する指針の変更について報告され、承認された。

本学会の各種規則・規程・内規等の文書に関する整合性について、用語を統一し、通信理事会に諮ることが承認された。

平田担当理事より、次期総会（定時評議員会）の議案事項として、

(1)定款改定（事務局所在地変更）、COI 開示に関する指針の改定（変更議決手続きの変更）、(2)財務関係（貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認）、(3)名誉理事長、名誉会員、特別会員の推戴、(4)次期、次々期学術集会会長承認、が提示された。また、寺本司法書士からの説明の後、6 月の学術集会での定時社員総会は、委任状+現地開催（小規模）とすることが承認された。

④専門医制度委員会・HTC/FTC 制度委員会：田中屋担当理事・川崎担当理事

田中屋担当理事から第 4 回 2020 年度専門医認定試験の実施予定・進捗状況について報告された。

川崎担当理事より、遺伝性腫瘍コーディネーター移行申請（書類審査）、家族性腫瘍カウンセラー新規申請（書類審査）について報告され、合格者について、事務局より認定証の発行をすることが承認された。また、遺伝性腫瘍コーディネーター認定試験の実施予定、家族性腫瘍カウンセラー制度細則の修正について報告された。

⑤編集委員会：下平担当理事

「遺伝性腫瘍」の発刊状況、投稿論文審査状況について報告され、オンライン査読システム導入に関し ScholarOne の導入・査読フロー・発刊時期の変更について審議され、承認された。

⑥作業部会委員会：石川担当理事

規程の作成、部会設置に関する内規の修正（案）について審議され、一部修正の上承認された。

LFS 部会活動報告が行われ、2020 年度の助成金を投稿費用に関する部会活動費として使用することが承認された。

新規作業部会として「Cowden 症候群／PTEN 過誤腫症候群」の設置が承認された。

⑦財務委員会：青木担当理事

2021 年度収支予算案について報告、承認された。

2020 年度収支報告、決算（見込み）について報告され、確定版については通信理事会で承認予定となった。第 26 回学術集会の収支報告が行われ、余剰金が本学会に寄付されたことが報告された。

⑧将来検討委員会：石田担当理事

ポストコロナの学会のありかたについて検討予定であることが報告された。

⑨学術・教育委員会：赤木担当理事

ポストコロナにおける学術・教育活動の充実のために、今後 e-learning を活用していく予定であることが報告された。

理事長より、学術・教育委員会の活動に限定せず、日本遺伝性腫瘍学会編集で出版物の刊行を今後検討していきたいとの意見があった。

⑩倫理審査委員会：杉本担当理事

学術集会演題応募に関するチェックリストの作成状況について報告された。

⑪ガイドライン委員会：大住担当理事

報告事項なし

理事長より、過誤腫性ポリポーシスの 3 ガイドラインが 4 年後に改訂となるので、今後検討していただきたいとの意見があった。

⑫利益相反（COI）委員会：大住担当理事

報告事項なし

⑬国際委員会：田村担当理事

報告事項なし

⑭遺伝カウンセリング委員会：杉本担当理事

報告事項なし

⑮がんゲノム・データベース委員会：赤木担当理事

バリエーション解釈に関する教育ビデオ等のコンテンツを作成予定であることが報告された。

⑯遺伝性腫瘍研究グループ連絡協議会：石川担当理事

遺伝性腫瘍研究グループ連絡協議会としては活動状況について報告され、今後協議会のありかたについて再検討予定であることが報告された。

4. 学術集会関係報告

① 第26回学術集会収支決算報告について、財務委員会より報告された。

第27回学術集会準備報告：赤木会長より、当日資料にもとづき埼玉での開催準備状況について報告された。

第28回学術集会準備報告：田中屋会長より、テーマ、開催日程、総会開催形式、会計方式、について報告された。

第29回学術集会準備報告：杉本会長より、高知開催で、日程に関しては6月中旬を予定している旨が報告された。

5. その他

①当日資料にもとづき、一般社団法人 大阪未来医療推進機構との協定に関する進捗状況について報告された。

②日本産科婦人科学会より送付された PGT-M 審査に関し、本学会へ1) 対象疾患の専門学会として意見書作成を行うこと、2) PGT-M 臨床倫理個別審査会に専門学会として委員を派遣すること、等のサーベイ回答依頼があったことが報告され、回答内容について審議、意見交換が行なわれ、本学会から「PGT-Mに関する倫理審議会」に委員として出席する田村和朗監事に一任し回答いただくことを承認した。また、日本産科婦人科学会理事会に出席する青木理事に理事会意見交換内容を伝えていただくこととなった。

③2021年度の理事会日程について

第2回 2021年10月15日（金）15:00～

第3回 2022年3月4日(金) 15:00～

の日程で予定することが承認された。

④通信理事会 理事会メールについて

重要案件メールについては、開封通知機能を付加することが承認された。

閉会にあたり、事務局の飛松様から退任の挨拶があった。2021年6月の学術集会で飛松様に特別アドバイザーを委嘱することが承認された。

以上

一般社団法人 日本遺伝性腫瘍学会 理事会

2021年 月 日

議長(理事長)	石田秀行	印
監事	武田裕子	印
監事	田村和朗	印

【捨印】

Ⓜ

Ⓜ

Ⓜ